



地下から汲み上げられた湧水は一枚岩をくり抜いた樹の中から湧き出ている



子供たちの成長を願って植えられた山モモの木



湧水は水路に流されており、飼われている鯉に餌を与えに来る人も

DATA・BOARD 20

- ① 滋賀県近江八幡市浅小井町
- ② 面積：333㎡
- ③ JR東海道本線近江八幡駅から車で約10分、名神高速道路竜王ICから車で約30分
- ④ 国民休暇村、八幡堀、八幡山、白雲館、かわらミュージアム、西の湖水郷ほか
- ⑤ 親子ふれあい活動、鯉の放流



20 かみ 上の湧水の里



近江八幡市では、市の誇る水と緑と文化を持った景観の保全を、景観リゾートタウン近江八幡計画の中に反映させていく地域づくりを進めている。

市内の浅小井町は、豊かな水と緑に恵まれた地域で、長い歴史を通じて湧水に親しんできた生活を再認識し、湧水との関わりを子供たちに伝承するため「上の湧水の里」の整備が行われた。この施設は、湧水の郷の散策ルートとの起点となるとともに、湧水を見たり湧水とふれることで、心のふるさと、ふれあいや語らいの場となることをめざしている。

整備にあたっては、ボーリングによる地下水を自噴させ、一枚岩をくり抜いた中から均等に溢れ出させ、本来の湧水をイメージさせている。湧水の上には四阿を配し、屋根には地場産の八幡瓦を用いて、周囲の農村集落と一体感を持たせ、景観に馴染むように配慮している。また、道路を隔てたシンボルゾーンには、山モモの巨木を植樹し、花が咲いて実が成り鳥が集まる自然本来の姿を求めている。

湧水の里は、世代を越えた人々の語らいの場として親しまれており、県道沿いにあることから人目を引きやすく、休息のひとときを利用する人や涼を求めて訪れる人にも親しまれるものとなっている。